

目次

はじめに	
発行によせて	
「沖縄の杜」 野外博物館ページマップ (本編目次)	6
身近な草花たち	8
植物の葉や種で遊ぼう!	10
ピンゴで遊ぼう!	11
身近な樹木たち	12
ホタルの光は愛のことば	14
カタツムリの仲間たち	15
身近な昆虫たち ~いろんな昆虫のいるんな生活~	16
テントウムシのおはなし	18
チヨウが舞う森	20
セミたちの短い夏	22
森のハンターたち	23
虫たちの昼と夜 ~バツタとキリギリスそしてコオロギの仲間~	24
トンボが暮らす水辺	26
虫たちのかくれんぼ ~どこにかくれているか見つけてみよう!~	28
カエルたちの大合唱	30
トカゲやヘビの暮らす森	31
鳥たちの好きな場所 ~環境ですみ分ける野鳥~	32
バードハウ巣コロクシヨソ	33
冬の水辺は水鳥のオアシス① ~カモや身近な水鳥たち~	34
冬の水辺は水鳥のオアシス② ~白いサギを見分けよう~	36
私たち、森を造ってます!	38
天女が「沖縄の杜」に舞い降りた ~相踏「銘対子」のふるさと~	40
水辺で遊びたい! ~私たちみんなで守る沖縄の杜の水辺~	42
「沖縄の杜」 野外博物館展示物カレンダー	44
生きものたちのつながりを考えよう	46
参考文献	47
索引	48



なはエコ博士の なるほど講座



目次

vol. 1	10円玉のさび落としができる植物	9
vol. 2	ガマといなばのシロウサギ	9
vol. 3	動物と植物の助け合い	11
vol. 4	ロウソクを生んだ木	13
vol. 5	イチジク属 (イチビクなど) の受粉の不思議	13
vol. 6	目のつけどころが違うね! ~カタツムリとタニシの仲間の見分け方~	15
vol. 7	ローヤルゼリー (王乳) の不思議	17
vol. 8	神様の虫	19
vol. 9	天然の農薬	19
vol. 10	「渡り」をするチヨウ	20
vol. 11	黄金色のサナギ	21
vol. 12	セミの幼虫期間	22
vol. 13	空飛ぶクモ	23
vol. 14	カマキリは草原のハンター	23
vol. 15	バツタの仲間とキリギリスの仲間、どうやって見分ける?	24
vol. 16	トンボ釣り ~トンボの習性を観察してみよう~	27
vol. 17	虫たちの身の守り方	29
vol. 18	忍者ヤールー参上	31
vol. 19	トカゲのしっぽ切り	31
vol. 20	「ひっさしびり!」と鳴く鳥は何?	32
vol. 21	兄弟思いの鳥 ~バツタのハルパー行動~	35
vol. 22	鳥を呼ぶ庭 ~バードガーターニソクのおすすめ~	39



「沖繩の杜」野外博物館

ページマップ

ホテルの光は
愛のことば

P12
身近な樹木たち



P14



P24
虫たちの昼と夜



P8
身近な草花たち



P15
カタツムリの
仲間たち



天竺が「沖繩の杜」に
舞い降りた

P40



テントウムシの
おはなし

P18



森のハンターたち

P23



冬の水辺は水鳥のオアシス①
カモや身近な水鳥たち

P34



←国道330号

那覇市新都心
読川庁舎
那覇市消防本部

那覇国際高校

お墓

多目的
広場

県道82号線(環状2号線)→

P32
鳥たちの好きな場所



P22
セミたちの短い夏



P10
植物の葉や種で遊ぼう!



P20
チョウが舞う森



P42
水辺で遊ぼう!



トカゲやヘビの暮らす森



身近な昆虫たち



トンボが暮らす水辺



冬の水辺は水鳥のオアシス②
白いサギを見分けよう



身近な草花たち

小さな草花たちも、石灰岩が好きなもの、水辺が好きなもの、乾いた草原が好きなもの、森の中の大きな木の下が好きなもの、というふうにならんでいる場所は種類によってさまざま。水辺から草原、石灰岩の森林などの環境が一緒にあると、いろいろな草花を見ることができるといえる。「沖繩の杜」では、最近あまり見られなくなったヒメガヤも観察できる。



▲葉っぱのトゲ



ウルナズビ

花は白くてかわいいけど、葉っぱをつかむと危ない。葉っぱの上に乗るといって葉っぱがついてくる。



シコロガヤツリ

マダガスカルが原産といわれている。シコロガヤツリは水質浄化に効果があるといわれ、多くの水生昆虫も集まる。古代の紙の原料だったパピルスの仲間です。茎から紙も作れるよ。



リュウキコウクスミ

可憐な小さな花だけど、たくましく、どこにでも生えている。スミシロの名前の由来は、花の咲き始めが大工さんの道具の「墨入れ（墨壺）」に似ているから「スミイロ」がなまり、「スミシロ」になったといわれている。タチバナ科のツマクサ科ヒョウモンソンの食草。



ヒメガヤ

川や池のふちに生える水辺の植物。真の花が咲き、種（種）はアメリカソンドツグのよう。十分に熟すると、ふわふわの白い綿毛になって、どこまでも風にのって飛んでいく。



タンボク

水辺や湿ったところから生える植物だけど、乾いた道ばたでみかけられることが多い。



ハシリカズラ

サクランブに負けないくらい可憐な花だけど、手で葉っぱをもんで匂いをかぎると「屁糞臭」といってひどい名前がつけられている。



オキナクススメウリ

石灰岩地帯に見られるつる性の植物。初めは緑色で、熟してくると赤色に白の縦じま模様。スイカのようなかわいらしい2cmくらいの実がつく。葉はハート型で長さ、幅とも10cmくらい大きい。



サクララン

かんざしのように髪に挿したくなる可憐な花の姿から、沖縄では「カンザシバナ」と呼ばれる。ランとサクラ、美しい花の代名詞をミックスした名前をつけられたが、カガイ科の植物。シグルクガエの岩の上から垂れ下がって咲いている。



ノアサガオ

梅雨の頃に鮮やかな青紫の花を咲かせる。石垣や木につるまきついて暮らしている。同じ花でも時間によって青みがかって赤みがかって赤みがある色に変わる。



ムラサキカタバミ

ピンクがかかった紫の花がかわいらしいが、草刈をして地下にゆりの根っここのように生え残っている。農家の天敵。



リュウキコウボツツル

石垣や樹木にいつの間にかからみついているつる性植物。油断すると庭にもあつていつの間にはびこる。6-7月の花の時期になると、植物全体が白い花で覆われる。

なほエゴ博士のなるほど講座



Vol. 1 10円玉のさび落としができる植物
ムラサキカタバミの葉でさびた10円玉をこすってみよう。そうすると、不思議なことに、ピカピカになる。これは葉の成分にシュウ酸という物質が含まれているからなんだ。葉を味見してみると少し酸っぱい。

Vol. 2 ガヤといはばのシコロガヤ
水辺に生えるマダガスカルソンドツグをさしたような植物はマダガスカルソンドツグ。この仲間は昔から日本人に親しまれている。昔話の「いばばのシコロガヤ」で皮をはがされたウサギを治したのは蒲（かま）だった。マツチやライターのない時代には火打ちの焚きつけに使われたり、ムシロ、すたれ、種はかんに使われ、昔は薬用として止血にもつかわれた。